

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ステラ新大阪校	
○保護者評価実施期間	2026年2月2日	～ 2026年2月29日
○保護者評価有効回答数	対象者数 40名	回答者数 36名
○従業者評価実施期間	2026年2月2日	～ 2026年2月29日
○従業者評価有効回答数	対象者数 10名	回答者数 10名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月6日	

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや 意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・50分マンツーマンで個別療育を環境調整のされた個室で行っている	・教室の広さや、机、使用教具など、お子さんの興味や特性に合わせて環境調節を行っている。	・研修内容の充実化や、社内での情報共有や相談できるPDCAの体制を作りながら、指導力向上を目指す
2	・お子様の発達段階と保護者様のニーズ、本児の抱える困り感を分析した上で、個別支援計画の作成し、療育を行っている	・お子さんの発達を共通認識できるように、ステラ独自の発達段階指標を使用し、適切なアセスメント、モニタリングを行っている。	・担当指導員間での共通認識が持てるよう、日々相談、検討し、必要があれば支援計画や指導の方針を見直ししていく
3	・療育の様子をIpadで見いただくことができ、療育内容の説明やお子さんの変化について質問、相談ができる	・療育の様子を一緒に見ながら保護者様からのご相談やお子さんの変化について情報共有や聞き取りを行っている	・ご家庭でのお子さんの様子の聞き取りや、アンケート、口コミなどを収集しながら、ニーズを汲みとり改善を行っている

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている 課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	・園への関連訪問を通して集団の様子を見ることは進んだが、事業所内での集団授業は1クラスしかないので、集団内での困りごとが情報共有しづらい	・教室の広さや、人的環境、机などの教具の配置などの物理的環境の違いがある ・環境調節された個別場面ではできても、視覚や聴覚の刺激の多い場面では興味がうつってしまうお子さんもいる	・保護者様のニーズに応じて関連訪問等を引き続き実施し、お子様の集団場面の様子を知り、園や他事業所との情報共有を引き続き行っていく
2	防災訓練、各種マニュアルのアナウンスが不十分	・入会時や年に2回の避難先の確認などを行っているが、定期的なアナウンスは不足している	・事業形態上、全利用者での訓練の実施は困難であるため、個別でのお伝えやHPなどを通してのアナウンスを行っていく
3			